

## R5 年度神奈川県横浜地区伝達講習会メモ

◆講師：石原先生、安藤先生 ◆開催：@瀬谷 SC 2023/4/23

### 【概要説明】石原先生

#### ●R5 年度の中央講習会に参加・・・ 剣道の環境を出来る限りコロナ禍以前に戻したい

- ・政府の「マスクは本人の判断」、全剣連では実技時は「面マスク+マウスシールド」もしくは「顎部加工マウスシールド」の着用、特に高齢者への配慮として面マスク着用を推奨。
- ・審判員、大会役員のマスクの有無
  - 統一性の面などから各主催者の判断に委ねる。（大会規模、参加人数等を考慮）
- ・体罰などの不祥事問題が多い → 指導と暴力の違いを認識してほしい。
- ・剣道人口を増やすために子供達に興味を持たせるための検討
  - 例えば中学から剣道を始めた者での大会など。

#### ●日本剣道形・・・「共通理解」について（昨年も説明された）

- (1) **中段の構えの延長**とは、棟の鍔元と切先を直線で結んだ延長
- (2) 太刀一本目、**打太刀正面打ちを抜かれた剣先の高さ**は下段程度
- (3) 太刀四本目、**双方切り結ぶ位置**は、およそ刀の中央部、剣先は正面の高さ
- (4) 太刀五本目、仕太刀の**中段の構え**は、一拳前に出し、刃先はやや斜め(左)下向き
- (5) 太刀六本目、仕太刀が**すり上げ小手を打った時**、右足を踏み出し左足を引き付けるを原則とするが、間合によって引き付けなくても、踏み出したと解釈する
- (6) 太刀七本目、仕太刀がすれ違いながら**右胴を打つときの方法**
  - ①右足を右前に開いたとき刀を左肩上に振り上げ、左足を踏み出すと同時に打つ
  - ②右足を開いても（体は移動させない）刀を振り上げず、左足を踏み出すと同時に振り上げ振り降ろし、一拍子で打つ。
- (7) **小太刀半身の構えの刃先の方向**
  - ①**中段半身の構え**は、刃先をやや斜め(右)下に向ける。
  - ②**下段半身の構え**の刃先は、真下とする。

#### ※演武上の注意点（以前の講習会内容も含めて記載）

- (1 本目) 打太刀：振り降ろしは下段の位置まで。  
仕太刀：残心は気位をもって、右足を引き付ける。
- (2 本目) 打太刀：日本剣道形では全体が見えるくらいに振りかぶる。剣先下がらない。  
仕太刀：打太刀の小手打ちを鋭く抜く。
- (3 本目) 相下段から中段になる。打太刀は残心時に休めにならないように。

(4本目)「左上段になりつつ」(振りかぶって止まらないように一拍子)。交差の高さ。

(ダメではないが)打太刀が突く際、引かないように留意する。

仕太刀：残心時、右足を引き付ける。

(5本目)仕太刀：中段の構え。「擦り上げ」と「払い」とは音が違う。

(6本目)仕太刀の上げと打太刀の下げは同時。仕太刀は擦り上げの音に注意。残心。

(7本目)仕太刀の抜き胴は二通りあるが、一拍子の抜き胴を勧める。

(小1、2本目)仕太刀はしっかり振りかぶって切る。中段半身の構えは左肩を引く。

(小3本目)仕太刀：擦り上げしっかり。擦り流しが大きい—脇を開けないように。

## ●審判法

・主な変更点は、「鰐競り合い」解消に至る時間は「およそ一呼吸」⇒「およそ3秒間」。

・審判の目的は試合・審判規則を正しく運用し、「試合による全ての事実を正しく判断し、決定する」ことである。…一つの判定が選手の一生を左右することもある。

・審判員の任務 — 試合の活性化を図ること。

観客は審判員の審判 — 審判員の所作や主審の発声が大きな印象

審判員は試合者二人と審判員二人を視野に入れる。

・鰐競り合いの解消 … 姑息な行為をなくすため。

・「一呼吸」を「3秒間」と規定 … この間に打突もしくは分かれないと反則の対象となる。

試合者がルールを把握していないと反則だらけになりうる。

・間合いが切れない … 安易に「双方反則」とせず、間合いの切れない原因による。

→経験を積み、おおいに研鑽してほしい。

・試合開始時の位置について…選手が開始線より下がっている場合は、あまりに極端でなければ(10cm程度以内)是正の必要無し。ただし、開始線より出ている場合は是正するといった注意あり。